

平成 20 年第 4 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 家庭ごみの有料化について

始めに、家庭ごみの有料化についてであります。ごみの減量化やリサイクルの推進、費用負担の公平化等を図るため、10 月 1 日から実施いたしました家庭ごみの有料化は、市民の皆様のご理解とご協力によりまして順調にスタートができたものと考えております。

実施にあたりまして、自治会・町内会の役員の皆様には、地域の方々への排出ルール呼びかけや、市職員のごみステーションの立ち会い指導などに際し、ご協力をいただき感謝申し上げます。

有料化に併せて新たに取り組みました、ごみを運ぶことが困難な方を対象とする庭先収集につきましては、11 月 20 日現在、申請があった 28 件すべての方を対象として収集を行っております。

また、紙おむつを日常的に使用する世帯への助成事業につきましては、11 月 20 日現在で、2 歳未満の乳幼児がいる 828 世帯及び高齢者等の 164 世帯に、指定ごみ袋の助成をしたところがあります。

なお、10 月の家庭ごみの排出状況は、前年同月と比べ 55%の減少、資源ごみにつきましては 25%の増加となっております。

2 燃料価格高騰などに対する緊急対策について

次に、燃料価格高騰などに対する緊急対策についてであります。市では「燃料価格の高騰に関する庁内連絡会議」において、価格動向の調査、市民や事業者への影響把握と対応などを協議してまいりました。

本市の緊急対策につきましては、「低所得者世帯等に対する福祉灯油特別対策事業」及び「中小企業特別融資事業における融資枠の拡大」を、11 月 18 日の臨時議会で議決をいただき、ともに年内に支給等が開始できるよう準備を進めているところであります。

市の委託業務や指定管理業務につきましては、受託者の円滑な業務の遂行を確保するため、

燃料価格高騰に対応する契約変更を実施してまいりたいと考えております。

また、国の「農業生産資材の価格高騰対策」や北海道の「中小企業を対象とした原油・原材料高騰対策特別資金」などの緊急対策につきましては、JA道央や商工会と連携し関係者への周知に努めてまいります。

本市の地元企業への緊急経済対策としましては、市道の側溝整備、河川の床浚い、集会所等の改修など、合計で約 3,200 万円規模の実施を予定しており、燃料価格高騰対策と合わせ、本定例会において必要な経費の補正予算を提案させていただいております。

3 千歳川流域の治水対策について

次に、千歳川流域の治水対策についてであります。石狩川開発建設部は、「東の里地区」を遊水地の候補地として、平成 18 年から地質や地下水位などの調査を実施し事業範囲を検討してまいりました。

10 月 7 日、「東の里地区遊水地整備に関する説明会」において、遊水地事業区域の概略について説明を行ったところであります。

現在、遊水地の予定箇所の測量や予備設計などを進めており、本年度中に遊水地の事業区域を確定する予定となっております。

4 札幌広域圏首長懇談会の開催について

次に、札幌広域圏首長懇談会の開催についてであります。11 月 14 日に札幌北広島クラッセホテルにおいて、札幌広域圏の 8 市町村長と石狩支庁長が一堂に会し、広域圏における連携や将来展望などについて意見交換が行われました。

この首長懇談会は、昨年 11 月に新篠津村で第 1 回が開催されたもので、第 2 回目の今回は「農業や食による連携」や「札幌市に開設される道産品アンテナショップを活用した PR」など事業の具体化に向けた議論が行われ、札幌広域圏組合構成市町村の連携をさらに強めることができたものと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。